

簡便かつ信頼度が高い。また本法によるLDLは免疫沈降法によるB-リポ蛋白とよく相関している。したがって本法によるLDLまたはLDL+VLDLの測定は高コレステロール血症の検査に極めて有用であると思われる。

〈結論〉 B L F 栄研キットを用い、LDL、LDL+VLDLの測定を行うことにより容易に高コレステロール血症を見出し得ることを示した。

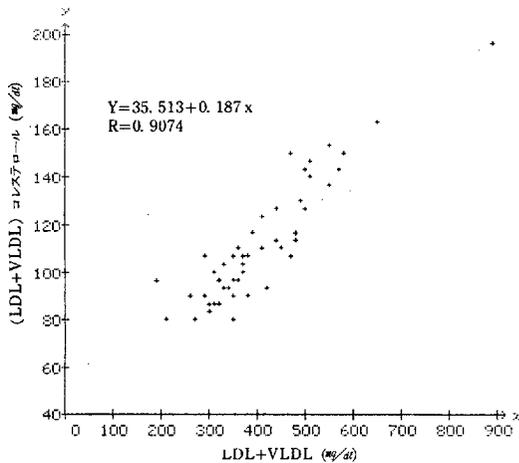


図 比濁法による (LDL+VLDL) と (LDL+VLDL) コレステロールの相関

先天代謝異常症スクリーニング研究班報告書

久留米大学小児科	山	下	文	雄
研究協力者	芳	野		信
	岡	田	象	二郎
	吉	田	一	郎
	安	岡		盟
	坂	口	裕	助

(I) マス・スクリーニング基礎データとしての低出生体重児の血液アミノ酸値の検討

〈目的〉 低出生体重児は低哺乳量、肝未熟のため、血液アミノ酸値が成熟新生児とちがう可能性がある。血液濾紙を用い、個々の新生児を日令別にアミノ酸値を追及、スクリーニングの基礎資料とすること。

〈方法と結果〉 高速アミノ酸分析計(日立835型)で44新生児のPhe、Leu、Met、His、

Tyr、Val、Ileu、Lys、計8種の血液アミノ酸値を5、10、15、20生日に測定した。

① Tyr. のみ5生日で、在胎35週以下の方が36週以上群より有意高値 ($P=0.05$) [$M \pm I S D$: 4.0 ± 1.8 対 3.1 ± 0.7] ② Tyr. のみ5生日で、出生時2500g以下が以上より有意高値 ($P=0.05$) [$M \pm I S D$: 3.8 ± 1.7 対 2.7 ± 0.2] ③ Leu. のみ5生日で、SFDがAFD群よりも有意低値 ($P=0.05$) [$M \pm I S D$: 0.6 ± 0.1 対 0.7 ± 0.2] ④乳汁(雪印ネオミルクA)摂取量、熱量、蛋白量と血液8種のアミノ酸値との相関はなかった。

<結論> ① Leu., Tyr. 値のみ判定の際、特別の考慮が必要。②以前考えられていたような哺乳量(蛋白負荷量)と血液アミノ酸値との相関はなかった。

(III) 新生児期高アンモニア血症スクリーニングの検討

<目的> 新生児期高アンモニア血症が尿素サイクル代謝異常症に“特異的か”を知ること。

<方法と結果> 血中 NH_3 測定キット(アミテスト[®]中外製薬)で、28新生児のAstrup採血時に測定、① IRDS 2 (死亡2)、寒冷傷害1(交換輸血し生存)、チアノーゼ型心臓病1(死亡1)に、高 NH_3 血症($>150 \mu g/dl$)あり(14%)、疾患別有意差はなかったが、2/4がIRDS. ② 血液PHが7.2未満では7.2以上群より高率($P=0.01$)、③ Base Excess-11以上群が-11未満群より高率($P=0.005$)、④ PO_2 、 PCO_2 では高 NH_3 の有無と、値の相関はなく、⑤ Apgar score(1分)が7未満が7以上より高率($P=0.005$)であった。

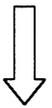
<結論> 新生児期の低酸素状態で高 NH_3 血症がおこりうるので、脳障害の予防のために、高 NH_3 血症に対する対策が必要である。

(* 主として毛細管血)



検索用テキスト OCR(光学的文字認識)ソフト使用

論文の一部ですが、認識率の関係で誤字が含まれる場合があります



- ()マス・スクリーニング基礎データとしての低出生体重児の血液アミノ酸値の検討
- ()新生児期高アンモニア血症スクリーニングの検討